

太平洋沿岸で確率上昇

静岡市89.8% 地震動予測地図更新

政府の地震調査委員会
は20日、今後30年以内に
震度6弱以上の揺れに見
舞われる確率などを地域
ごとに色で示した「全国
地震動予測地図」の20

10年版を公表した。本
県は09年と比べて、静岡

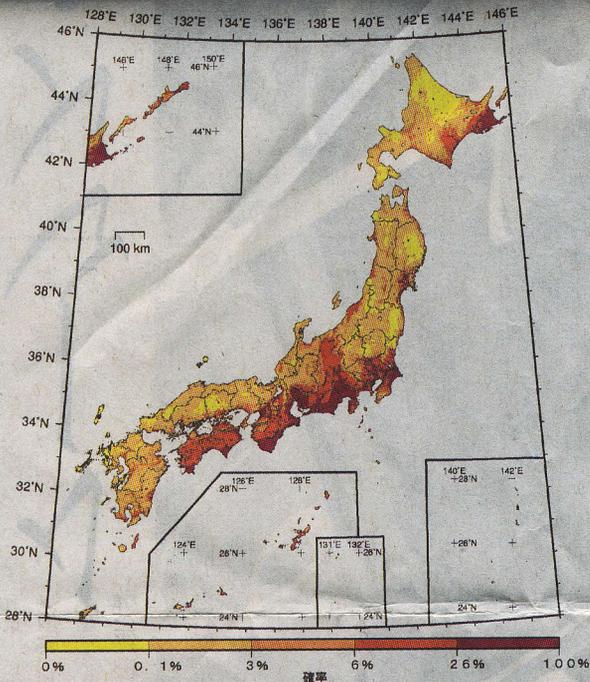
市で0.3%増の89.8
%などとなった。県内各
地で確率が高まり、迫り
来る巨大地震の脅威を浮
き彫りにした。

算定基準日を今年1月
1日に更新した結果、フ
ィリピン海プレート(岩

板)が陸側の岩板の下に
沈み込んでいる南海トラ
フの地震発生確率が高く
なり、関東南部から四国
にかけての太平洋沿岸の
確率が上昇した。

一方、琵琶湖周辺や福
井県北部などは、地域の
断層帯の長期評価が一部
が見直され、地震の発生
確率がこれまでより低く
評価されたことなどによ
り、震度6弱以上の確率
も下がった。

都道府県庁所在地で確
率が最も上昇したのは高
知市の1.6% (確率は
63.9%)、次いで徳島
市の1.5% (同61.2
%)、高松市の1.2%
(同41.9%)。確率が
高いのは静岡市(89.8
%)、津市(85.9%)、
奈良市(67.7%)の順。



30年以内に震度6弱以上の地震が起きる確率を
示した予測地図 (地震調査研究推進本部作製)